

何色ですか、あなたの愛。

TROIS COULEURS

BLEU



ジュリエット・ビノシュ

トリコロール/青の愛

マラン・カルミッツ製作

'93ヴェネチア国際映画祭金獅子賞、主演女優賞、撮影賞受賞
'93ロサンゼルス批評家協会賞作曲賞受賞

クシシュトフ・キエシロフスキ監督作品

プロダクション: ブノワ・レジャン エレーヌ・ヴァンサン フランス・ベルネル シャロット・ヴェリ エマニュエル・リヴァ 脚本: クシシュトフ・キエシロフスキ/クシシュトフ・ビシェヴィチ 音楽: スビグニエフ・ブレイスネル 撮影: スワヴォミル・イジャック
美術: クロード・ルノール 編集: ジャック・ヴィタ 録音: ジャン・クロード・ロルー プロダクション・デザイナー: イヴォン・クレン アシスタント・デザイナー: エマニュエル・フィンキエル 共同製作: MK2プロダクションSA/CEDプロダクション/
フランス3シネマ/CABプロダクション/「トル」スタジオプロダクション/カナル+ ce film a été soutenu par le FONDS EURIMAGES du conseil de l'Europe サントラ盤: 東芝EMI 提供: NSKT21パートナーシップ

配給: KUZUIエンタープライズ

© 1993 MK2 PRODUCTIONS/CED PRODUCTIONS/F.R.3 FILMS PRODUCTION/CAB PRODUCTIONS (Suisse)/STUDIO TOR (Pologne)



BLEU BLANC ROUGE

ヨーロッパを代表する三大女優が奏でる、三色の愛の極限

フランス国旗を構成する三つの色〈青、白、赤〉18世紀末のフランス革命の精神〈自由、平等、博愛〉をあらわすこの三つの色をモチーフにした三本の映画が「トリコロール/青の愛」、「トリコロール/白の愛」、「トリコロール/赤の愛」である。三本すべてを監督するのは、今やヨーロッパを代表

する名匠クシユトフ・ケシロフスキ、ジュリエット・ピノシュ、ジュリー・デルビー、イレヌ・ジャコブというフランスの三大女優がそれぞれ主演をつとめ、「青の愛」はヴェネチア映画祭に、「白の愛」はベルリン映画祭に、そして「赤の愛」はカンヌ映画祭に出品されることでも大きな話題を呼んでいる。

T R O I S C O U L E U R S

BLEU



トリコロール/青の愛

主演/ジュリエット・ピノシュ

'93ヴェネチア国際映画祭金獅子賞(グランプリ)、主演女優賞、撮影賞受賞
'93ロサンゼルス批評家協会賞作曲賞受賞

青の愛——なにものにも縛られない自由な人生

三部作のトップを飾るのは、ジュリエット・ピノシュ演じる作曲家の妻が主人公となる「青の愛」。彼女は、ある日突然愛する夫と娘を事故で失ってしまい、人生の重大な岐路に立つ。死を選ぶか、思い出とともに生きるか、それともまったく違った人生を始めるか…。葛藤の末、彼女はそれまでの価値観や欲望を捨て去った新たな人生を歩み出す。

そして新しい生活の中、夫の遺志を継いで、彼が作曲していたコンチェルト曲を完成させようと動き出す。そんな矢先、死んだ夫に愛人がいたことに気づくのだった。

'93年のヴェネチア映画祭に出品され、高い前評判どおり金獅子賞(グランプリ)と主演女優賞、さらに撮影賞を受賞した本作は、ヨーロッパ、アメリカで公開され、記録的なロングランで大ヒット中。次に控える「白の愛」に対しても期待は高まる一方である。

再生と愛、そして“超自由”を物語る『青の愛』のメッセージ 末永蒼生(色彩心理研究家、色彩学校代表)

映画『青の愛』はジュリーという現代女性を通り抜けていく死、再生、愛を、「青」という象徴によって導きながら描きつくす。決定的なシーンのキーワードは常に色であり、青いファイル、青いプール、青い窓…と、さまざまに変容しながら青の物語が連なっていく。

これは色彩のメッセージに耳を傾けながら見る映画だ。その時、青が語る世界が見えてくる。これまでの個人主義的な自由をすら越え、ユング心理学がいう普遍的な無意識潮流へと融合するような新しい時代の“超自由”のヴィジョンを感じるのである。

フランスの国旗、「自由」、「平等」、「博愛」を象徴するトリコロールをテーマにしたケシロフスキ監督の三部作の第一弾『青の愛』は、今、政治経済だけでなく、ライフスタイルや愛のあり方に大きく揺らいでいる日本の女と男にどんな心理的影響を与えるだろうか。トリコロールから青を差し引くと日本の国旗の配色になるわけだが、「青」はもしかしたら日本人のメンタリティーにとってもっともインパクトを与える色かもしれない。



- 「ジュリエット・ピノシュは完璧だ。彼女の演技に見られるガラスの中に閉じ込められた誠実さと激しさを体験することは驚きに値する」(LAタイムズ紙)
- 「ジュリエット・ピノシュは素晴らしい。ズビグニェフ・ Preisネルの音楽は今までにないほど素晴らしい効果的である。すべてが超越した面を創り出すとき言葉では言い表せない感情の世界を創造させた。」
- 「稀にみる神秘的な映画—ケシロフスキは、ベルイマン、フェリーニと並ぶヨーロッパ映画の最高峰だ。」(ニューヴェル・オブゼルヴァトゥール誌)

1993年フランス映画/99分/ビスタ(1:1.85)/ドルビー-SR/カラー映画/字幕スーパー 古田由紀子/配給:KUZUIエンタープライズ/提供:NSK721パートナーシップ

第二作「トリコロール/白の愛」主演 ジュリー・デルビー '94ベルリン映画祭監督賞受賞 第三作「トリコロール/赤の愛」主演 イレヌ・ジャコブ '94カンヌ映画祭出品予定

今夏連続ロードショー!

特別鑑賞券1400円発売中 当日料金1700円(税込)

特別トリプル鑑賞券3900円限定発売(劇場窓口にて)

定員制・入替制

お立ち見及び上映開始後の入場はできません。前日迄に混雑状況をご確認の上、お出かけ下さい。

Bunkamura 15th Anniversary

ル・シネマ

Bunkamuraを支えるオフィシャルサプライヤー

NTT ii 東映 HITACHI NEC 東京急行



●お問合わせBunkamura 03-3477-9264